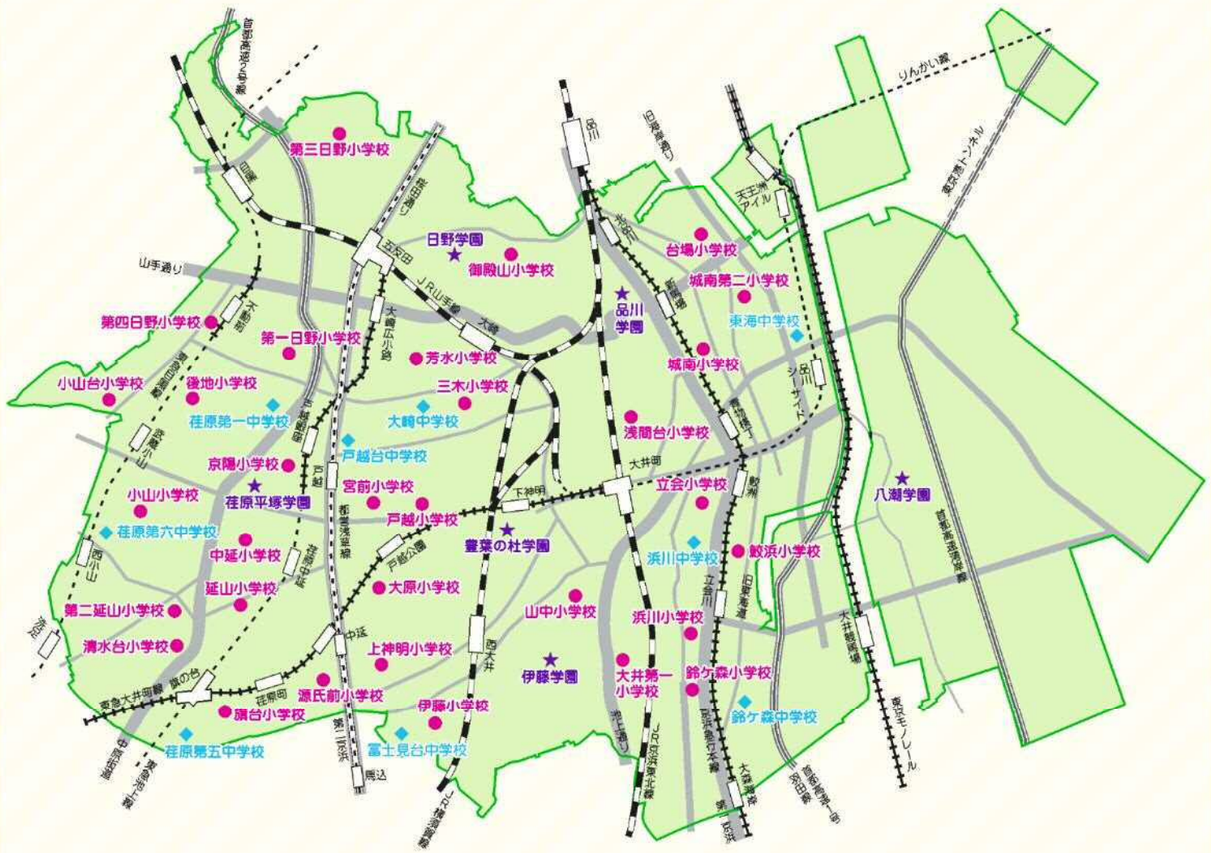
# 品川区立学校（46校）

● 小学校：31校
◆ 中学校：　9校
★ 義務教育学校：6校





Shinagawa City
品川区



令和2年3月
編集発行：品川区教育委員会事務局指導課



〒140-8715　品川区広町2-1-36
TEL：03-5742-6595　FAX：03-5742-6892


品川コミュニティ・スクールの取組は、
ウェブでも紹介しています。

品川区トップページ>
教育委員会>教育施策>
品川コミュニティ・スクール

Shinagawa Community School

# 品川 コミュニティ・スクール

地域とともにある学校づくり

品川区教育委員会

## 品川コミュニティ・スクールとは

これからの世の中を生き抜く力を育てるために、地域と学校をつなげる仕組みです。学校・地域・保護者が連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

品川区では、地域の方々に学校運営に参画していただく「校区教育協働委員会」と教育活動を支援する「学校支援地域本部」の二つを設置している区立学校を指します。（品川区内のすべての公立学校で設置が完了しています。）

## 今なぜ そのような仕組みが必要なの？

子どもたちを取り巻く状況が大きく変化してきています。

高齢化　グローバル化　情報化の進展

価値観の多様化

少子化　家族形態の変容　技術革新

地域社会のつながりや支え合いの希薄化

学校教育の課題の複雑化・多様化

Q　これまでの学校のままでこれからの予測困難な社会を生き抜く子どもたちを育てられるの？

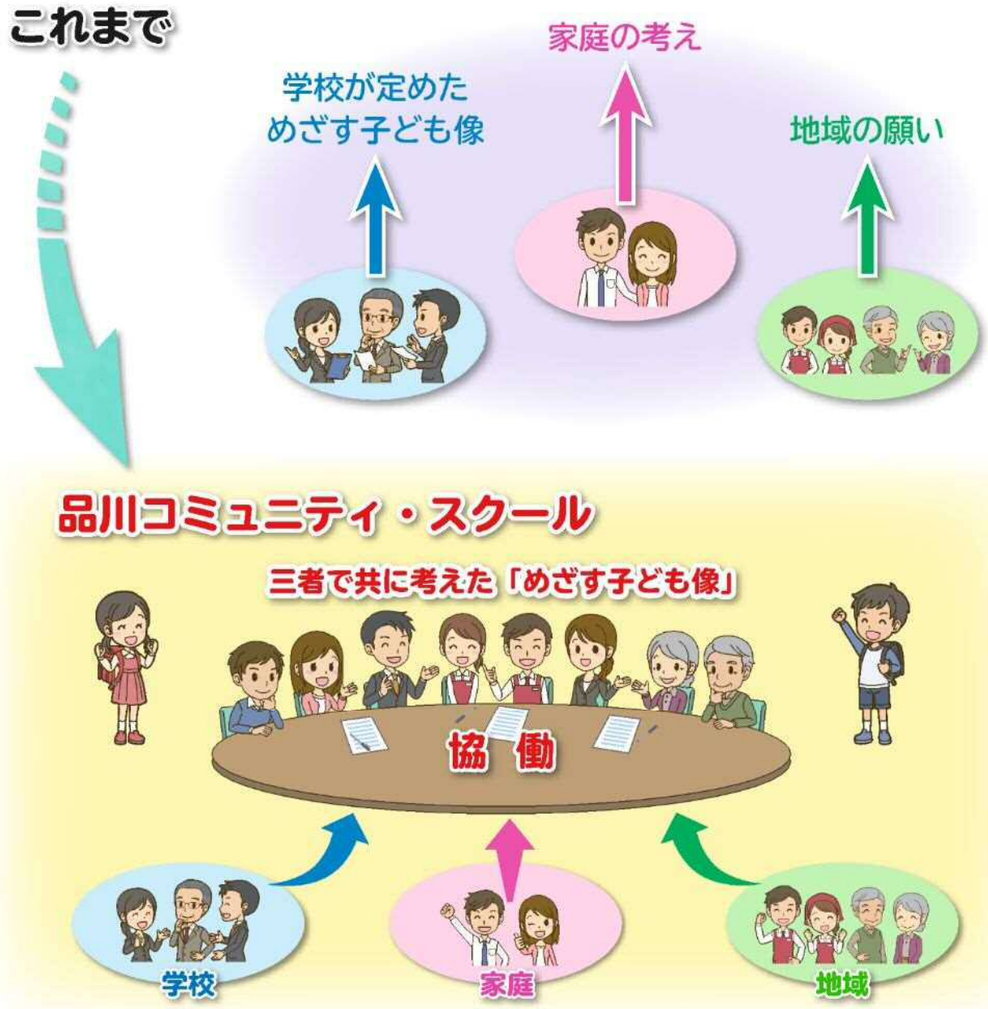
子どもたちの健やかで豊かな成長のためには、
学校・家庭・地域が連携・協働し「社会総掛かり」で
取組を進める仕組みが不可欠！

## 品川コミュニティ・スクールの目指すもの

次代を生き抜く子どもたちの育成のために、地域とともにある学校づくりを進め、学校も元気に、地域も元気になることを目指しています。

## 品川コミュニティ・スクールの導入で何が変わるの？

保護者、地域住民、卒業生など様々な人たちが「校区教育協働委員会」の委員として、学校とともに「学校」や「地域」の課題を共有し、共通の目標・ビジョンをもって一体となって子どもたちを育みます。子どもの豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる大人たちの成長も促し、ひいては地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。



# 組織・役割

## 学校運営に参画する 校区教育協働委員会

保護者や地域の方々が委員となり、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有します。

「学校運営の基本方針の承認」「教育活動の評価」「区費教職員等の活用への意見」「学校支援活動の企画・調整」の4つの役割を有しています。

## 地域と学校をつなぐ 学校地域コーディネーター

学校で行われる教育活動の充実に向けて、学校支援のコーディネートを行います。学校地域コーディネーターは学校と地域をつなぐパイプ役です。

**◆アシスタントコーディネーターの配置**

学校支援地域本部の組織的な運営、学校支援活動のさらなる充実を図るため、アシスタントコーディネーターを配置しています。

## 学校支援を行う 学校支援地域本部

学校地域コーディネーターや学校支援ボランティア等で構成され、地域の方々の協力を得ながら、学校教育の充実を図っています。

高等学校・高等専門学校・大学 ／ 商店街 ／ 公共機関 ／ 町会・自治会 ／ **地域** ／ 保護者 ／ 地域住民 ／ グループ・サークル ／ 企業・NPO

## 学校地域コーディネーターが地域とつないで実施した教育活動

### 地域の方々によるあいさつ運動

子どもたちの笑顔に、元気をもらっています。

### 朝運動

朝早く登校している児童を遊ばせてあげるために地域の仲間で学校に提案しました。朝から元気に遊ぶ子どもの姿を見られて嬉しいです。

### 地域未来塾の実施（学習支援活動）

卒業した学校や後輩の力になれればうれしいです。

### 授業補助や外部講師との連絡調整（授業支援）

みんな地域の子。子どもたちの成長を見られて楽しいです。

### 掲示や花壇など環境整備支援活動

教員だけでは手が回らないことをお手伝いいただき、とても助かっています。

### 町たんけん、職場体験、ドリームジョブ など（地域学習・キャリア学習）

商店街には色々なお店があることを知っていただければ嬉しいです。今度はおうちの人と歩いてみてください。

## メリット

**1．組織的・継続的な体制の構築 ＝ 持続可能性**

校長や教職員の異動があっても、地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

**2．当事者意識・役割分担 ＝ 社会総掛かり**

校区教育協働委員会等を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

**3．目標・ビジョンを共有した「協働」活動**

学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

品川コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人に様々な魅力が広がっていきます。

## 魅　力

### 子どもにとって

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

### 地域の方々にとって

- 経験を生かすことで生きがいや、やりがいにつながります。
- 学校が社会につながり、地域社会の拠点となります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等が構築できます。

### 保護者にとって

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

### 教職員にとって

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

## Q & A

**Q　学校と地域の連携はうまくいっているので、必要ないのでは？**

A　現在の良好な関係を教職員の異動や地域での世代交代時でも継続するための仕組みです。組織的な連携・協働体制の継続は多くの大人の専門性・地域性を活かした学校運営、子どもたちの学びや体験の充実につながります。

**Q　具体的にどのような取組をしているの？**

A　校区教育協働委員会で、地域や学校の特色に合わせてどのような学校支援が必要か協議していますので、学校によって取組は様々です。各校のホームページや、学校だより等でご確認ください。

**Q　学校支援地域本部の活動と PTA 活動はどう違うの？**

A　PTA は保護者と教員が、在校している子どもの健やかな成長のために協力・活動する団体です。お子さんの卒業とともに活動は終了します。
一方、学校支援地域本部の活動は学校の運営や教育における取組支援を保護者も含めた地域の方々が担いますので、お子さんが在校しているかどうかは関係なく、長く続けていただくことが可能な活動です。

**Q　学校支援地域本部の活動に参加したいがどうすればいいの？**

A　まずは活動を希望する学校の学校地域コーディネーターにご連絡ください。希望する活動内容や活動日などをお伺いし、調整させていただきます。なお、ご希望に添えないこともありますので予めご了承ください。

**Q　いつでもできるとは限らないのですが、それでもいいですか？**

A　もちろんです。学校支援ボランティアは、できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行うことが基本です。